

製品名: ペリフィリン 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15976**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	PPHLN1
別名	PPHLN1; HSPC206; HSPC232; Periphilin-1; Gastric cancer antigen Ga50
遺伝子 ID	51535.0
SwissProt ID	Q8NEY8
免疫原	抗血清はヒト PPHLN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

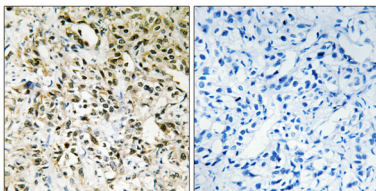
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、表皮外層におけるケラチノサイトの終末分化過程において、角化細胞膜に順次組み込まれる複数のタンパク質のうちの1つです。このタンパク質は、角化細胞膜の前駆体として知られるペリプラキリンと相互作用しま

す。このタンパク質の細胞内局在パターンと不溶性は、上皮分化において役割を果たし、表皮の完全性とバリア形成に寄与する可能性を示唆しています。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 上皮分化に関与し、表皮の完全性とバリア形成に寄与する。 ,PTM: トランスグルタミナーゼの基質 (in vitro) ,細胞内局在: 未分化ケラチノサイトではスペckル型核顆粒および核膜に発現するが、分化ケラチノサイトでは細胞周縁部および細胞間接合部においてペリプラキンと共局在する。 ,サブユニット: ホモ二量体。 PPL と相互作用する。 ,組織特異性: 普遍的。 ,

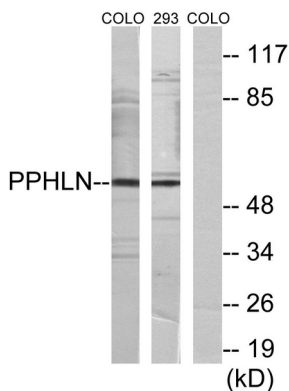
研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞タイプマーカー; その他の細胞タイプ; 細胞生物学; 細胞周期; 細胞分化

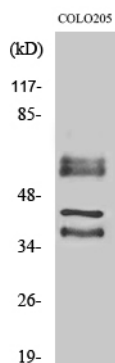
画像データ



PPHLN 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



PPHLN 抗体を用いた COLO 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ペリフィリン 1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析